

平成 29 年 8 月 3 日

札幌市長 秋元 克広 様

第 10 次札幌市環境審議会
会長 松田 従三

第 2 次札幌市環境基本計画の策定について（答申）

平成 28 年 2 月 10 日付札幌計第 1031 号をもって諮問のあった標記の件について、本審議会は、慎重に審議するとともに、市民ワークショップ等の結果も踏まえ、平成 29 年 3 月 29 日に素案検討にあたっての要望等を取りまとめた中間答申を札幌市へ提出したところである。

本年 3 月に提出した中間答申では、特に、将来像の実現に向けた施策の体系化、市民・事業者等の各主体の取組の推進、各施策の柱における取組の方向等について意見を述べた。

その後、本審議会では、札幌の環境が目指すべき将来像を「次世代の子どもたちが笑顔で暮らせる持続可能な都市『環境首都・SAPPORO』」と設定し、札幌市をはじめ、市民や事業者などの全ての主体が環境保全に取り組むべき施策の方向を示すとともに、その対策の推進が、世界が目指す「持続可能な開発目標（SDGs）」達成にも繋げていくことなどをまとめたところである。

また、本審議会では、先人たちが築き上げてきた札幌の環境を、市民一人ひとりが改めて認識するとともに、これを一丸となって守り、次の世代へと繋いでいくことの重要性を強く意識して検討を進めてきた。

この度、別紙のとおり答申をまとめたが、札幌市においては、この答申がこうした観点によってとりまとめられたことを念頭に置きつつ、この内容を踏まえ、効果的かつ着実に施策を展開するための手法などについて検討を加えていただくとともに、より札幌らしさのある計画として第 2 次札幌市環境基本計画を策定されることを要望する。